



DEOS シンポジウムのご案内

変化しつづけるシステムのためのディペンダビリティ ～ DEOS 研究成果の実利用 ～

2006年10月に開始された「実用化を目指した組込みシステム用ディペンダブル・オペレーティングシステム」(DEOS プロジェクト)は、(独) 科学技術振興機構 戦略的創造研究推進事業 CRSET の一研究領域として、7年間にわたる研究活動を通じて、オープンシステムディペンダビリティ(OSD)の概念ならびにその実現手法としての DEOS 技術体系を確立することができました。

本シンポジウムは、「変化しつづけるシステムのためのディペンダビリティ～DEOS 研究成果の実利用～」と題して、研究チームから DEOS の社会的意義と研究成果を報告していただくとともに、研究成果の今後の実利用への期待として有識者の方々からご講演いただき DEOS 協会を中核とした今後の活動に繋げて行くことを目的として開催いたします。

本シンポジウムが、DEOS プロジェクトの成果と、それと実際に利用していくにあたり、新しい創造の場となるよう、皆様の積極的なご参加をお願いいたします。

【参加申し込み】

2月21日(金) 17:00 までに事務局 (deos@cybersoken.com) 宛に以下を記載の上、メールでお申込みください。尚、懇親会ご参加の方は準備の都合上2月19日(水) 17:00 までにお申し込みください。

- 1)氏名 (ふりがな)
- 2)所属・役職
- 3)懇親会への参加・不参加
- 4)メールアドレス

お申込みいただいた後、事務局よりメールにて参加証をお送りいたします。

当日は、参加証をプリントアウトして、ご持参ください。

DEOS シンポジウムプログラム (案)

- 日時： 2014年2月24日(月) 10:00-17:00 (受付開始：9:30より)
- 場所： 一橋大学一橋講堂 中会議場 (地下鉄神保町徒歩4分 学術総合センター内)
- 主催：横浜国立大学 / 独立行政法人科学技術振興機構
- 後援：独立行政法人情報処理推進機構
- 懇親会：同じ学術総合センター内3階で 17:30-19:00



- (開会の辞)**
- 10:00~10:10 開会の辞 (Sony CSL 所 眞理雄 DEOS 研究総括)
- (来賓ご挨拶)**
- 10:10~10:15 来賓挨拶 (文部科学省 研究振興局 下間 康行 参事官 (情報担当))
- 10:15~10:20 来賓挨拶 (IPA/SEC 松本 隆明 所長)
- (招待講演)**
- 10:20~11:00 招待講演 1 (名古屋大学 高田 広章 教授)
- 11:00~11:40 招待講演 2 (City University London/Adelard LLP Prof. Robin Bloomfield)
- 11:40~13:30 昼食
- (DEOS 成果報告－ 1 (研究総括))**
- 13:30~14:00 DEOS 研究成果の要点と社会的意義 (Sony CSL 所 眞理雄 DEOS 研究総括)
- (来賓ご挨拶)**
- 14:00~14:05 来賓挨拶 (経産省 商務情報政策局情報処理振興課 江口 純一 課長)
- (DEOS 成果報告－ 2 (プロジェクト研究者))**
- 14:05~14:35 D-Case によるディペンダビリティ向上
(名古屋大学 山本 修一郎 教授)
(電気通信大学 松野 裕 助教)
- 14:35~14:55 合意記述データベース (D-ADD) (慶應義塾大学 横手 靖彦 特任教授)
(株式会社 Symphony 永山 辰巳 代表)
- 14:55~15:15 DEOS プロセスのシステム運用への適用 (横浜国立大学 倉光 君郎 准教授)
- 15:15~15:30 休憩
- 15:30~15:50 DEOS プロセスのロボット開発と運用への応用
(産業技術総合研究所デジタルヒューマン研究センター 加賀美 聡 副センター長)
- 15:50~16:10 ディペンダビリティの標準化動向 (神奈川大学 木下 佳樹 教授)
- (DEOS の今後の発展への期待)**
- 16:10~16:30 講演 1 (デンソークリエイト 小林 展英 シニアデスク)
- 16:30~16:50 講演 2 (IPA/SEC 田丸 喜一郎 調査役)
- (閉会の辞)**
- 16:50~16:55 研究副総括挨拶 (村岡 洋一 DEOS 研究副総括)
- 16:55~17:00 閉会の挨拶 (JST 石正 茂 戦略研究推進部長)
- (研究成果デモ)**
- 11:40~17:20
- 17:30~19:00 懇親会 (会費 : 3500 円)